

株式会社タムラ製作所

2008年3月期 決算概要

2008年 5月13日



1. 2008年3月期決算概要
2. 2009年3月期通期業績予想

1. 2008年3月期決算概要

増収・増益

売上高は6期連続増収で過去最高

08/03 期中平均実績為替レート: \$1= 114 円 48銭

08/03 期中平均社内為替レート: \$1= 114 円 18銭

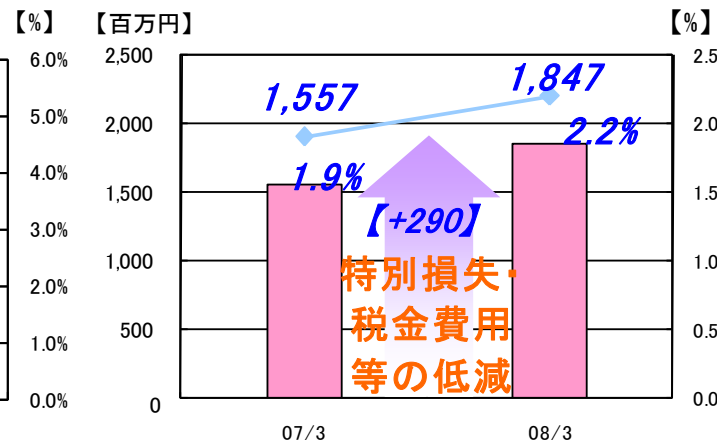
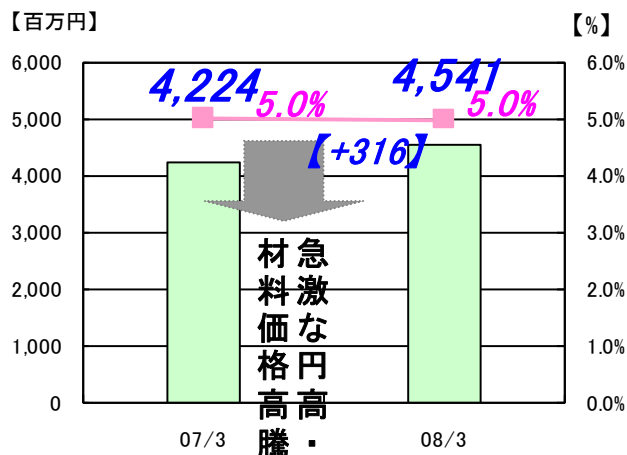
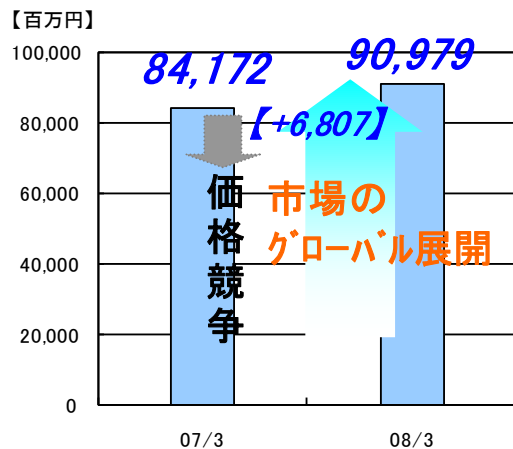
【百万円】

	07/3	08/3	対前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	84,172	90,979	6,807	8.1%
営業利益	4,224	4,541	316	7.5%
営業外損益	△ 328	△ 631	△ 303	
経常利益	3,896	3,910	13	0.4%
特別損益	△ 1,079	△ 678	401	
税引前利益	2,817	3,231	414	14.7%
当期純利益	1,557	1,847	290	18.6%

売上高

営業利益・利益率

当期純利益・ROA



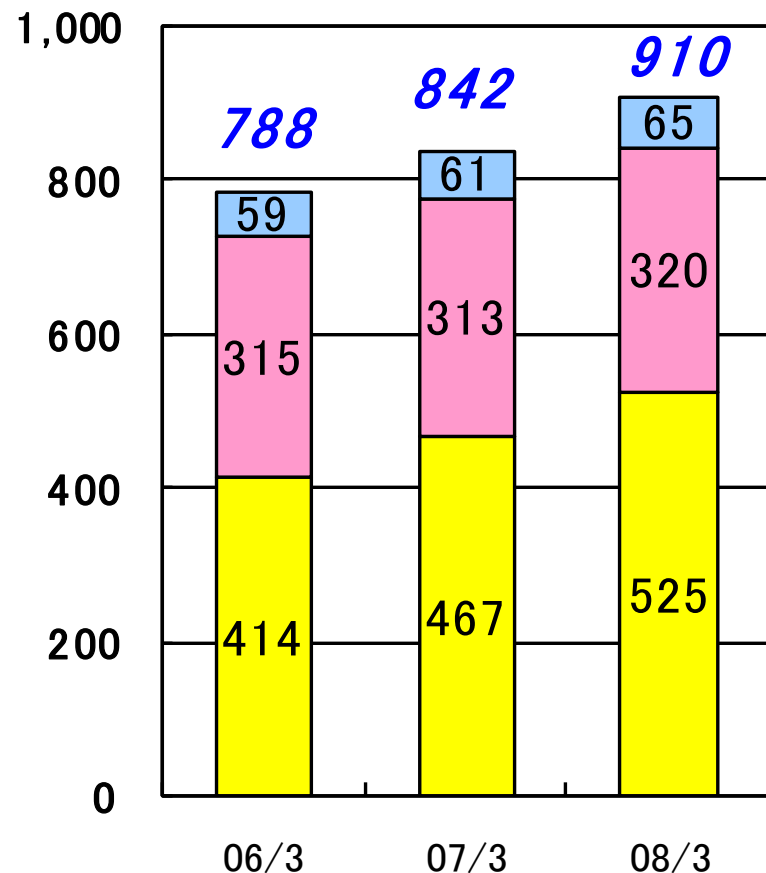
電子部品事業・情報機器事業:海外への拡販・営業力強化
 プロダクトミックスなどの改善も進み、売上・利益を牽引

売上高

営業利益

【億円】

【億円】



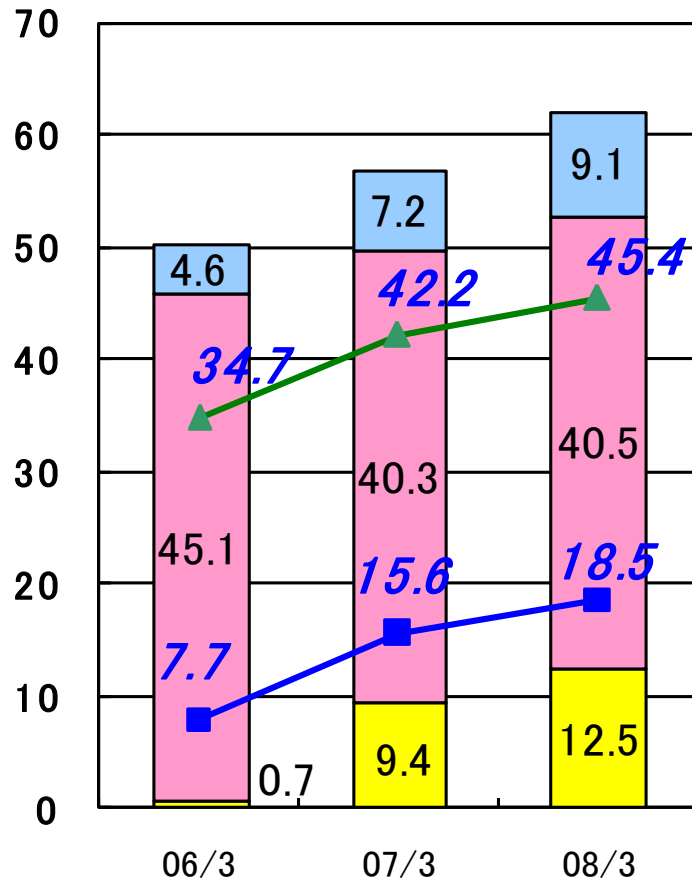
情報機器関連

電子化学材料・はんだ付け装置関連

電子部品関連

営業利益

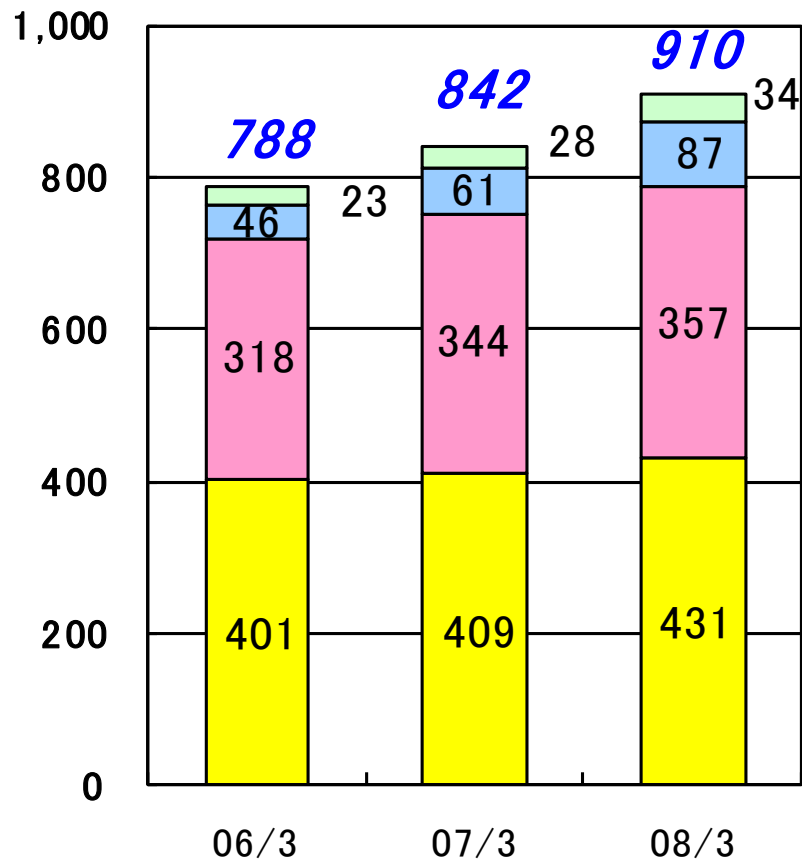
当期純利益



引き続きアジアは中国を中心に売上・利益を牽引
ヨーロッパも拡販強化・業務改革が実を結び大幅な増収・増益

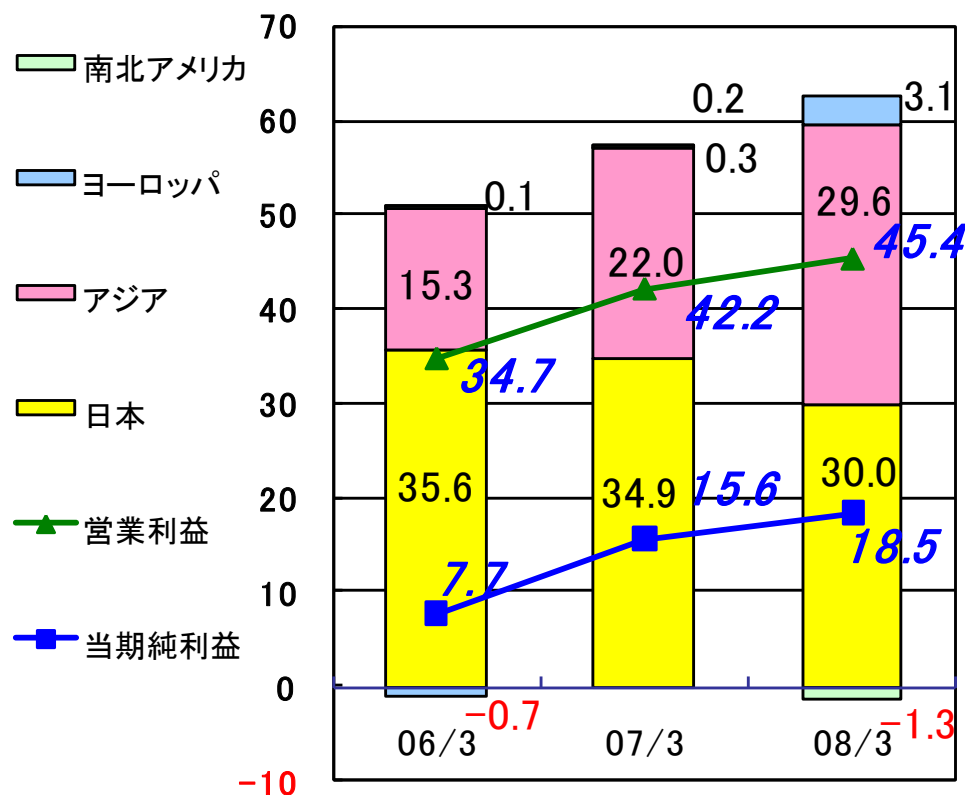
売上高

【億円】

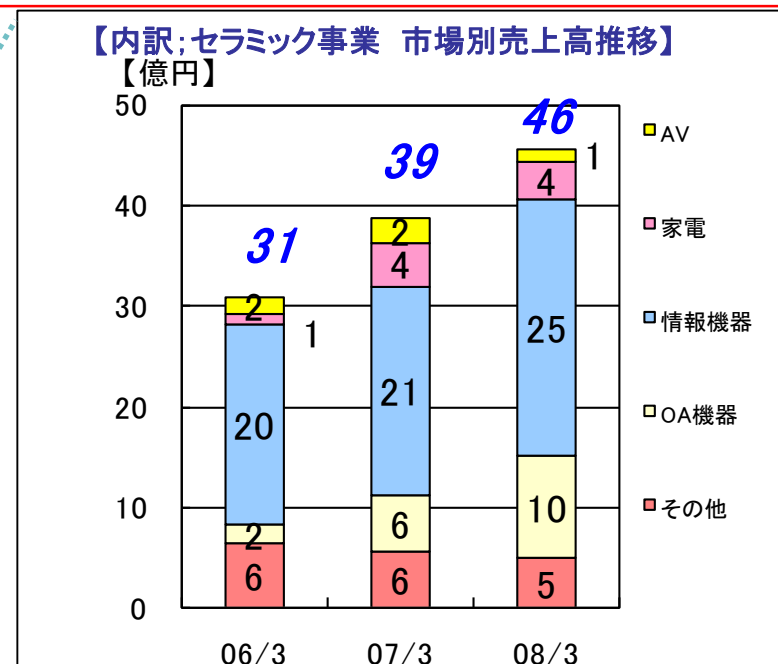
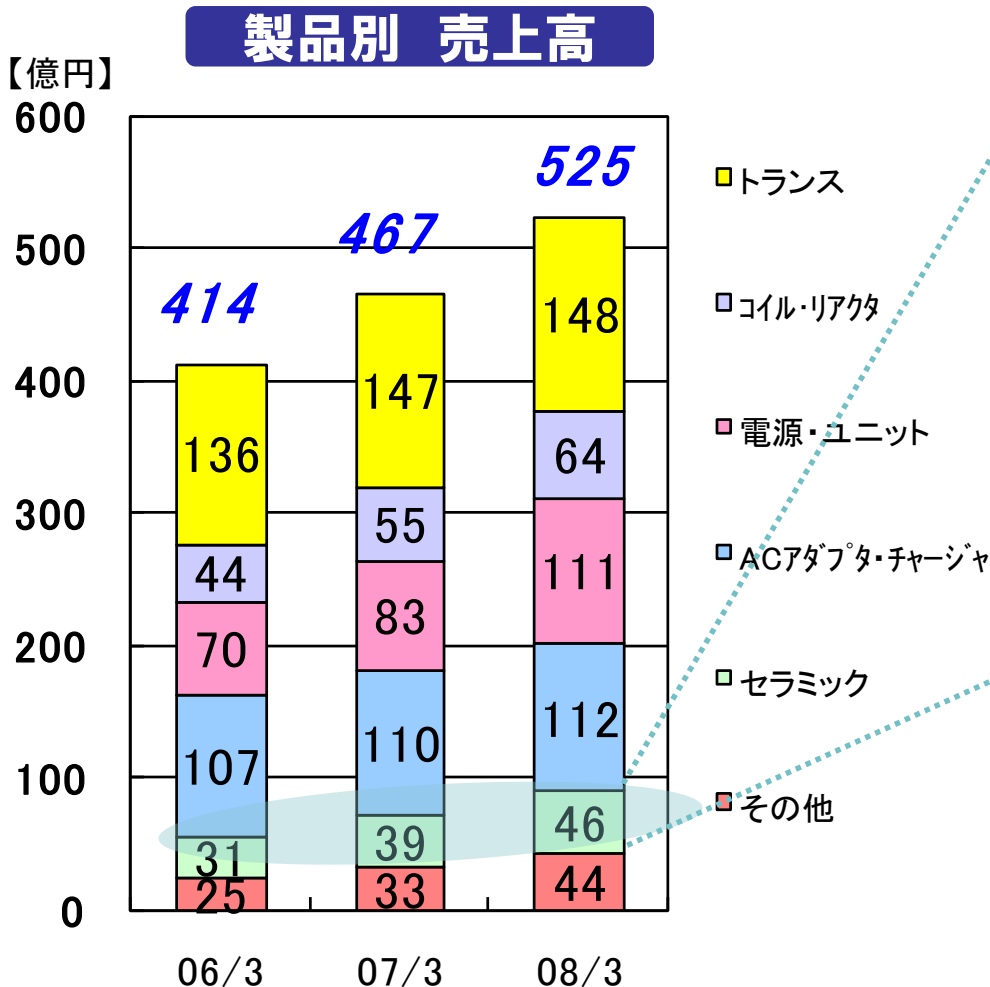


営業利益

【億円】



産業機器向け、家電・住宅関連向け市場を中心に トランス、コイル、電源、圧電セラミック等、全般的に好調

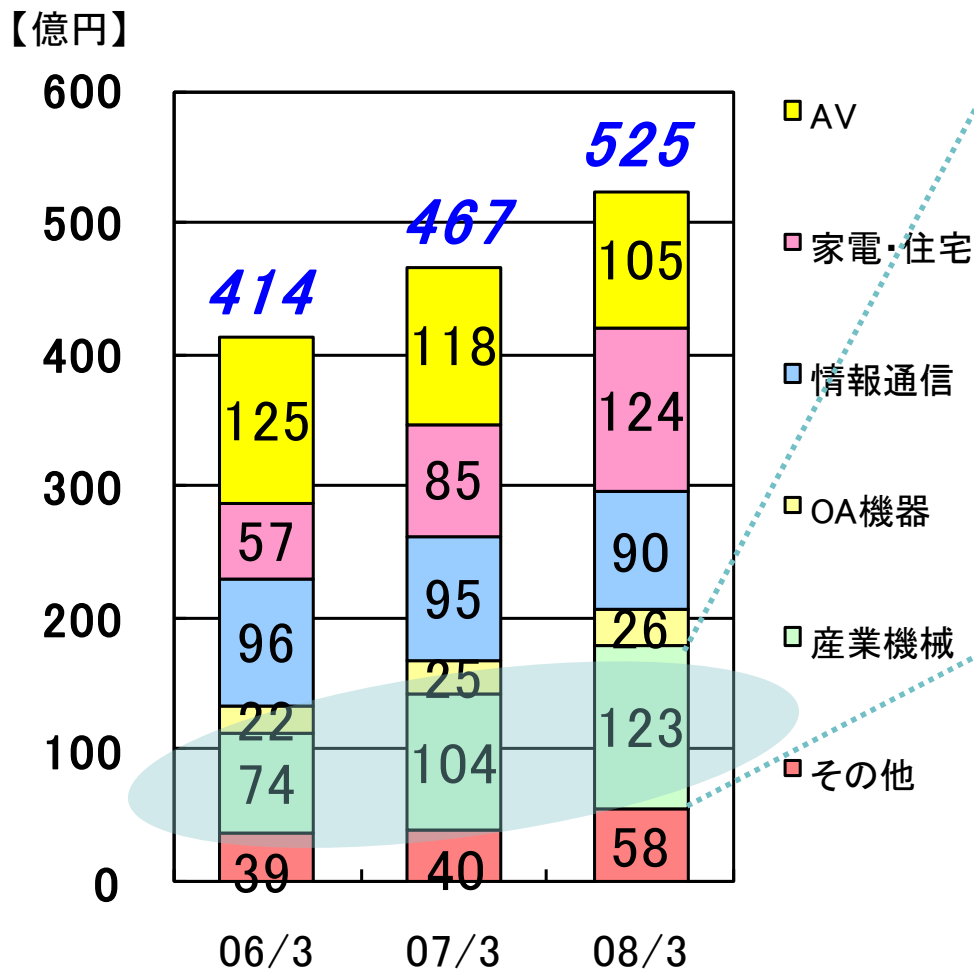


◆戦略事業であるセラミック事業において
市場拡大・拡販・生産体制の強化を推進

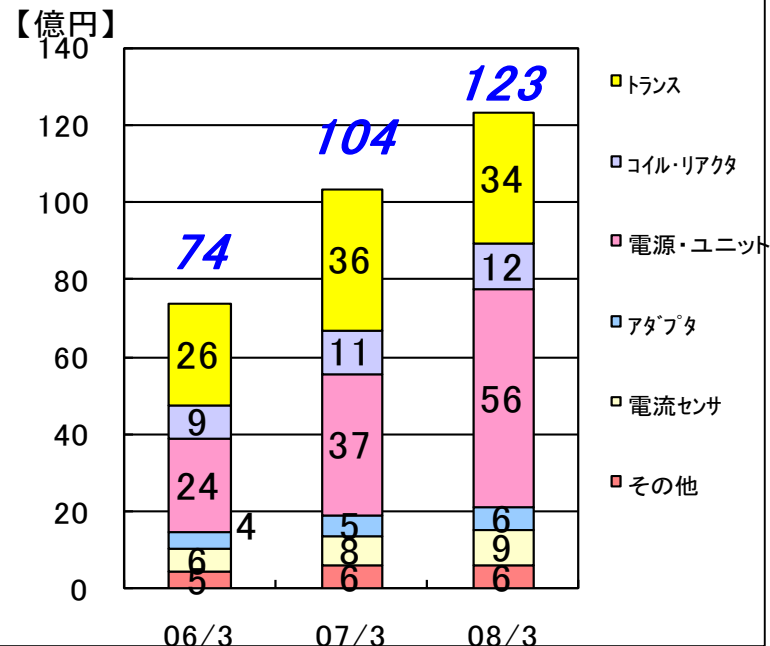
- ①ノートパソコン向け圧電インバータ
市場ニーズにあった性能・コストを実現、
日系メーカーを中心に引き続き、堅調に推移
- ②プリンタ向け高圧用圧電トランス
プリンタ市場への投入も、やや増産に遅延は
生じたものの堅調に進み、本格増産体制へシフト
また、水平展開による市場拡大を推進中

エアコン・家庭用電動工具や産業機器向け製品 欧米などへのグローバル展開も実を結びはじめ、大幅に伸長

市場別 売上高



【内訳：産業機器事業 製品別売上高推移】



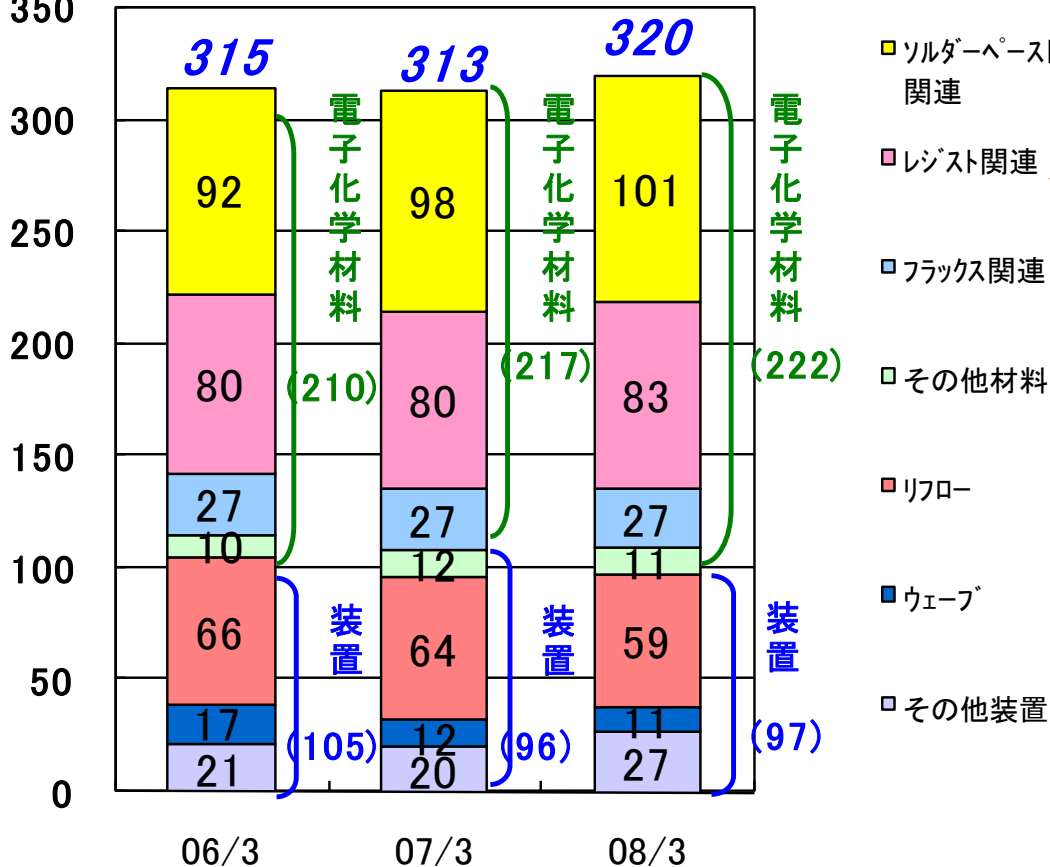
◆産機向け電子部品の海外展開を強化

- ①電源、コイル・リアクタ
NC・工作機械分野を中心にエネルギー分野への展開など図り、好調に推移
グローバルな市場拡大へ向け顧客ニーズに対応した製品開発を推進
- ②電流センサ
日本・アジア・欧米のインバータ市場・モーター制御・UPS市場向けを中心に拡販を推進中

電子化学材料:ソルダーペースト関連製品100億円突破、 はんだ付装置事業は市場環境の鈍化、競争激化もあり、やや低調

製品別 売上高

【億円】



◆電子化学材料

- ・車載用鉛フリーペースト認証取得
- ・半導体向け鉛フリーペースト出荷

◆はんだ付装置事業

- 生産能力を大幅に向上させた
大量生産・EMSメーカー向け
新型N2リフロー装置を市場投入開始

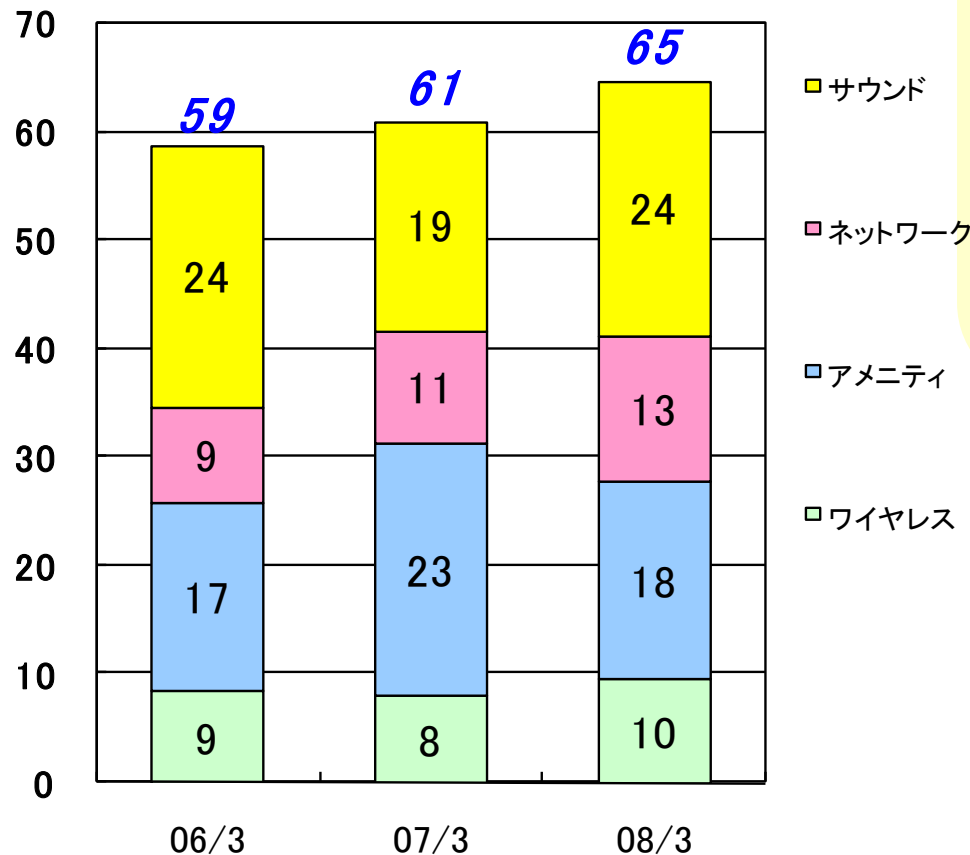


高速生産対応N2リフロー装置
「TNC51-6212EM」

放送関連設備・ワイヤレス関連製品は国内地方局を中心に堅調、
 韓国・中国などアジアを中心にグローバル展開も進展、
 ネットワーク関連機器は、引き続き、好調に推移し、売上・利益に貢献

製品別 売上高

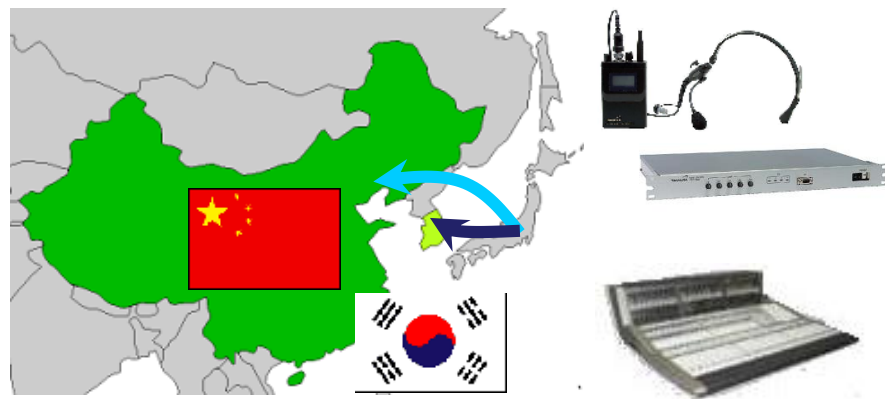
【億円】



◆アジア市場への拡販展開を開始

-中国・韓国市場を中心に
 本格参入へ向け足がかりつかむ-

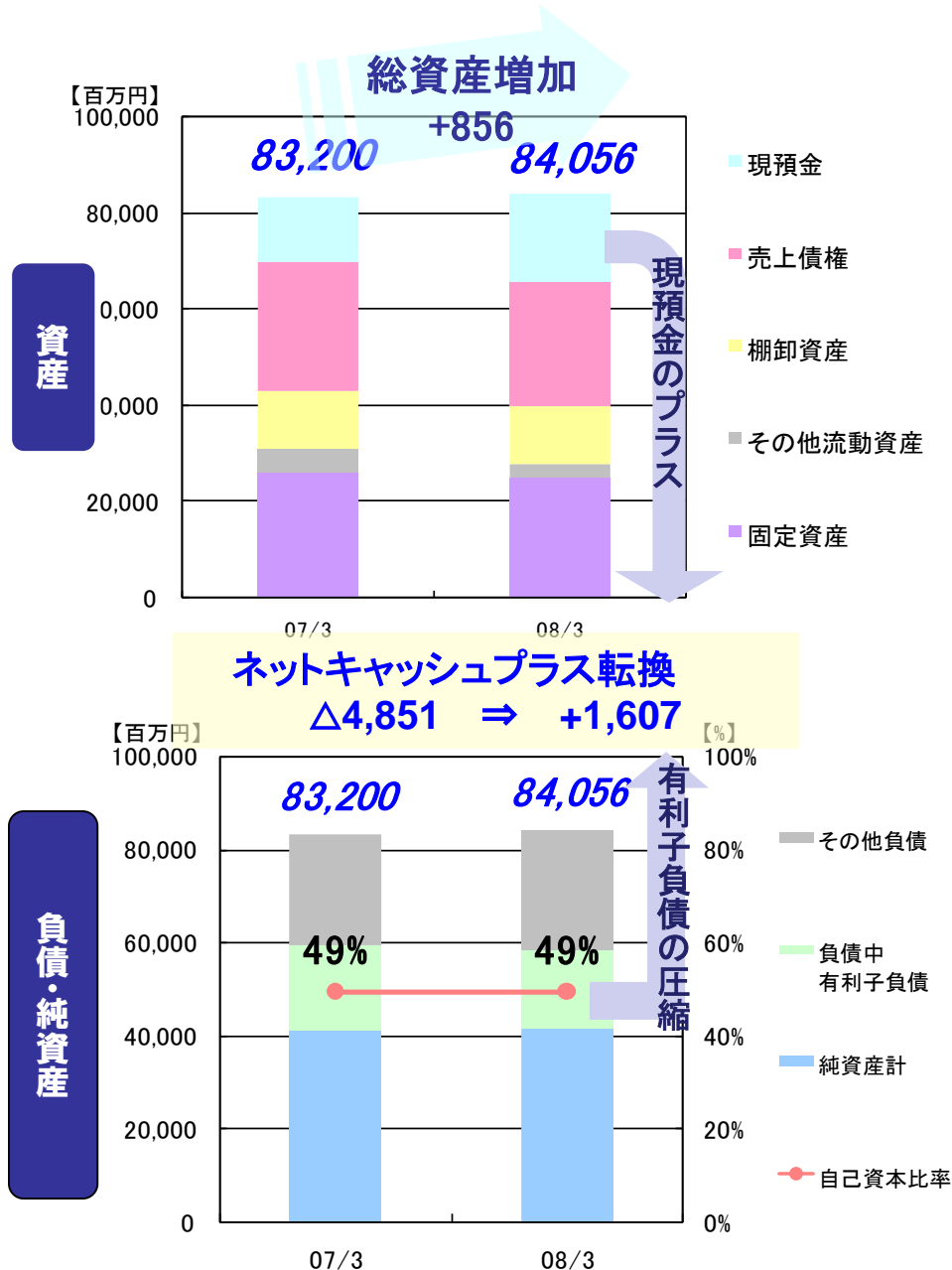
- ・音声卓並びにワイヤレスインカム
 続々韓国市場投入へ
 (韓国 MBC中継・釜山MBC・GTBから受注)
- ・音声卓、中国最大規模の国営テレビ局である
 CCTVで初受注獲得
 北京オリンピックにおける各種放送で採用を予定



ネットキャッシュ プラス転換 - 戦略投資資金確保 -

	【百万円】		
	07/3	08/3	対前年 増減
流動資産	57,470	59,339	1,869
(現預金)	13,474	18,379	4,904
(売上債権)	26,778	26,016	△ 761
(棚卸資産)	12,211	12,102	△ 108
(その他流動資産)	5,007	2,842	△ 2,165
固定資産	25,729	24,716	△ 1,012
(有形固定資産)	17,483	17,223	△ 259
(無形固定資産)	1,470	1,444	△ 25
(投資、その他)	6,776	6,048	△ 727
資産合計	83,200	84,056	856
流動負債	25,757	27,442	1,684
(仕入債務)	15,085	15,790	704
固定負債	16,302	15,075	△ 1,226
(有利子負債)	18,325	16,772	△ 1,553
負債計	42,060	42,517	457
純資産合計	41,140	41,539	398
負債・純資産合計	83,200	84,056	856

* ネットキャッシュ…現預金-有利子負債のことで、実質的現金。

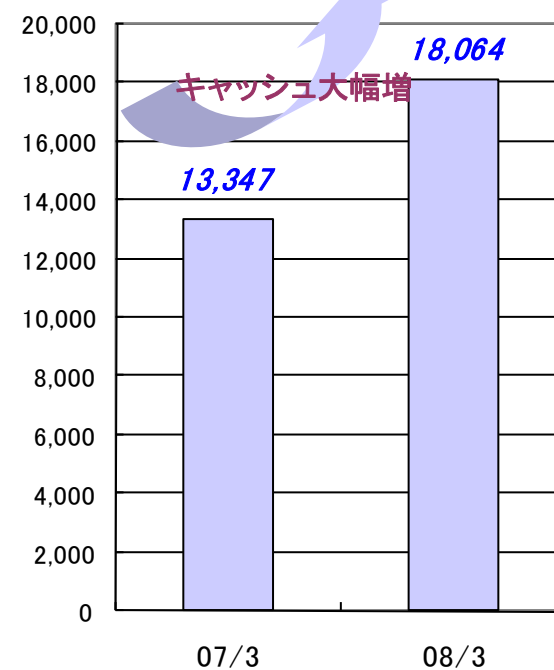


キャッシュの増加 - 事業拡大につき積極投資へ -

【百万円】

	07/3	08/3	増減
営業活動による キャッシュフロー	3,806	6,515	2,708
投資活動による キャッシュフロー	△ 2,577	△ 1,074	1,502
フリーキャッシュフロー	1,229	5,441	4,212
財務活動による キャッシュフロー	△ 140	△ 1,857	△ 1,716
キャッシュの増減	1,332	3,919	2,587
キャッシュの残高	13,347	18,064	4,716

【百万円】 キャッシュ残高の推移



2. 2009年3月期 通期業績予想と事業戦略

中期経営計画(**T's POWER!**)第2年度突入！

売上高は1,000億円突破！！

グローバル経営管理強化を図り、更なる収益性の向上を目指す

損益見通し

09/3 計画為替レート \$1 = 105円

【百万円】

	08/3	09/3 (計画)	対前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	90,979	104,000	13,021	14.3%
営業利益	4,541	5,100	559	12.3%
経常利益	3,910	4,600	690	17.6%
当期純利益	1,847	2,000	153	8.3%

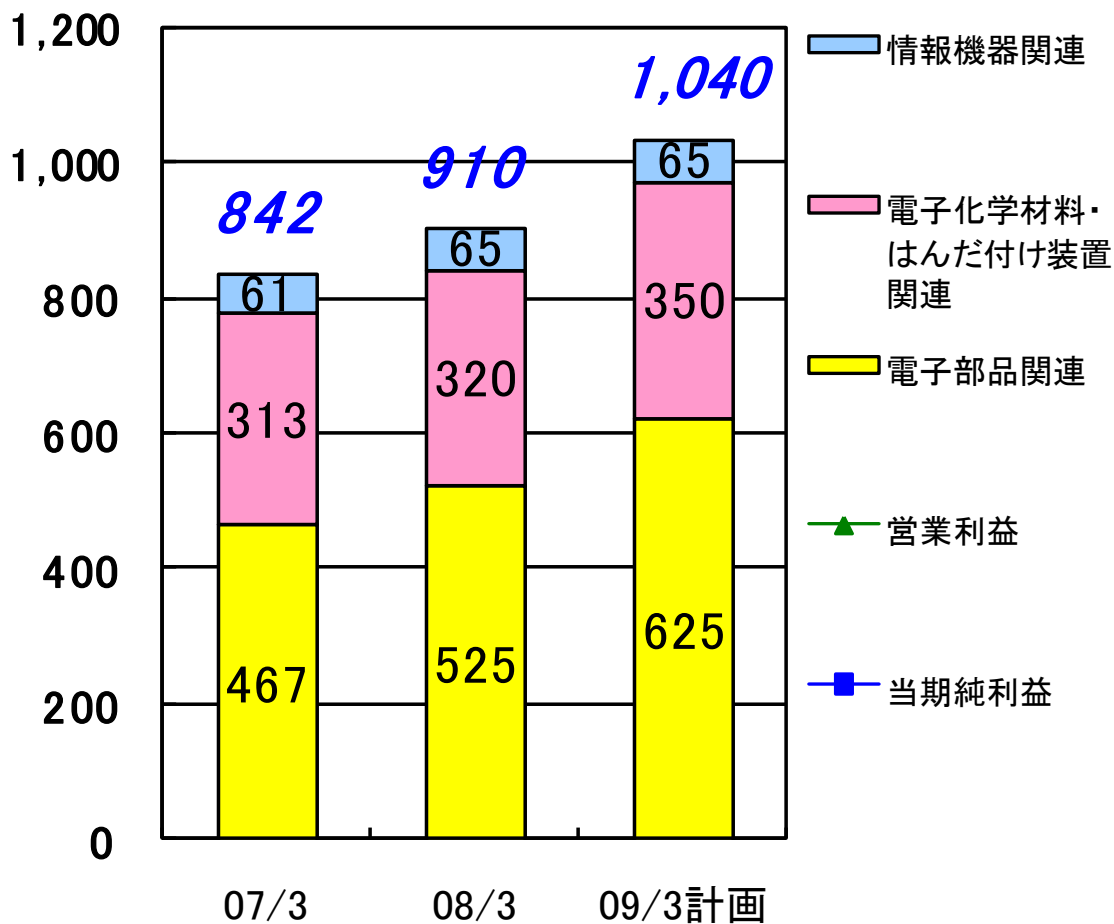
ROA・ROE

	08/3	09/3(計画)
ROA	2.2%	2.4%
ROE	4.5%	4.8%

戦略事業・チャレンジ事業拡大により 電子部品事業が売上を牽引

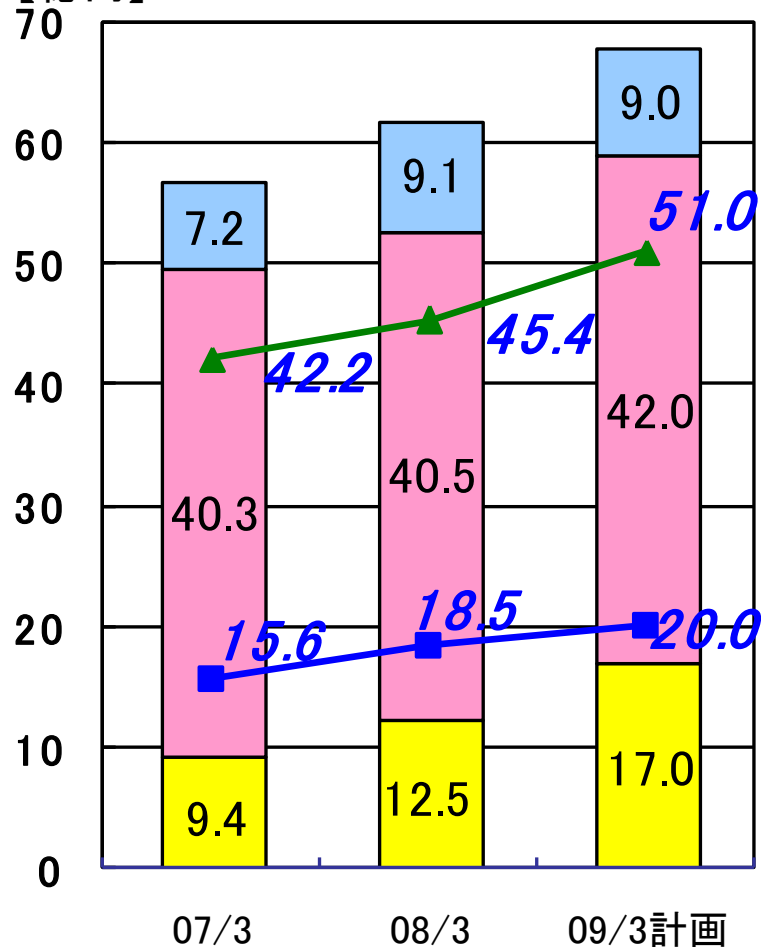
売上高

【億円】



営業利益

【億円】



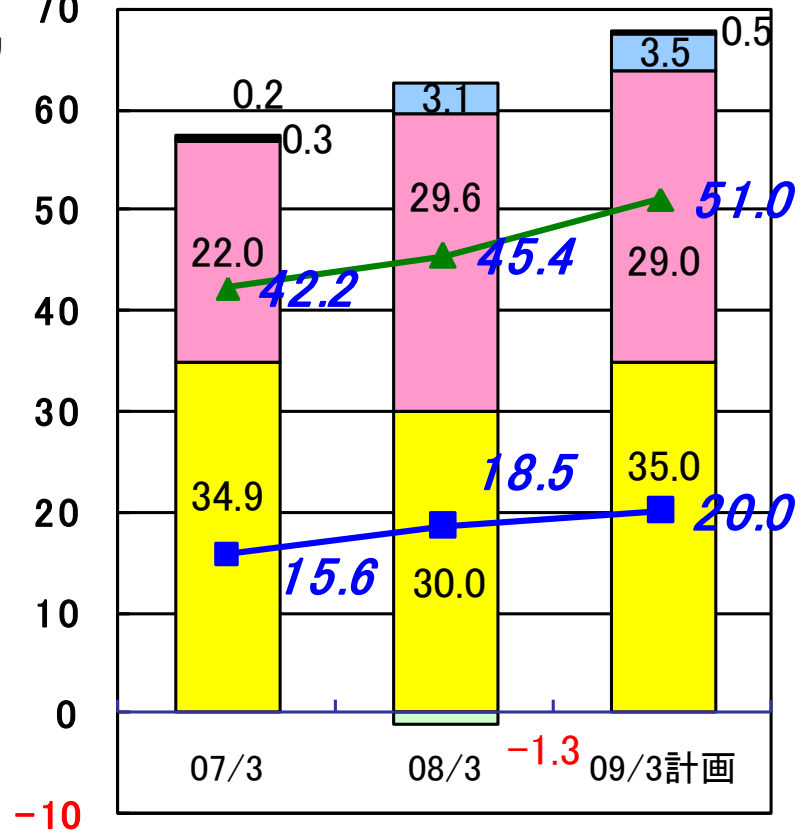
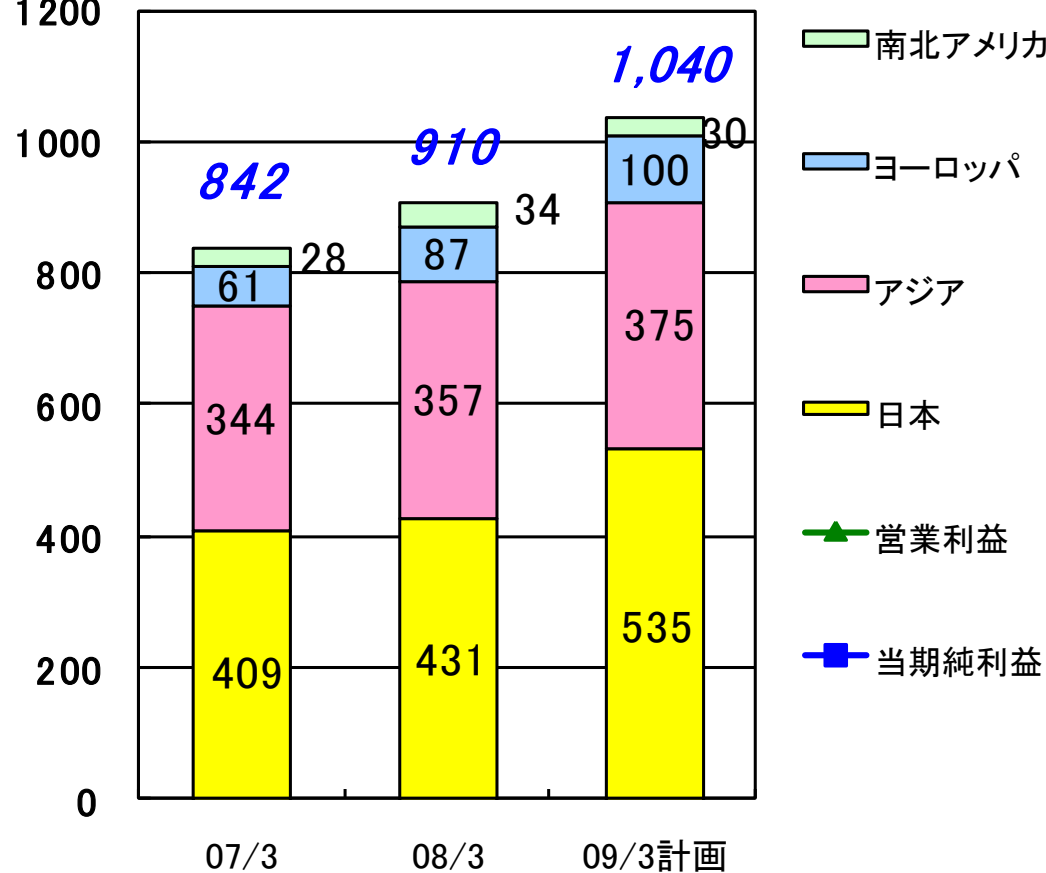
更なるグローバル展開の推進、 海外市場における競争力強化・収益性向上

売上高

営業利益

【億円】

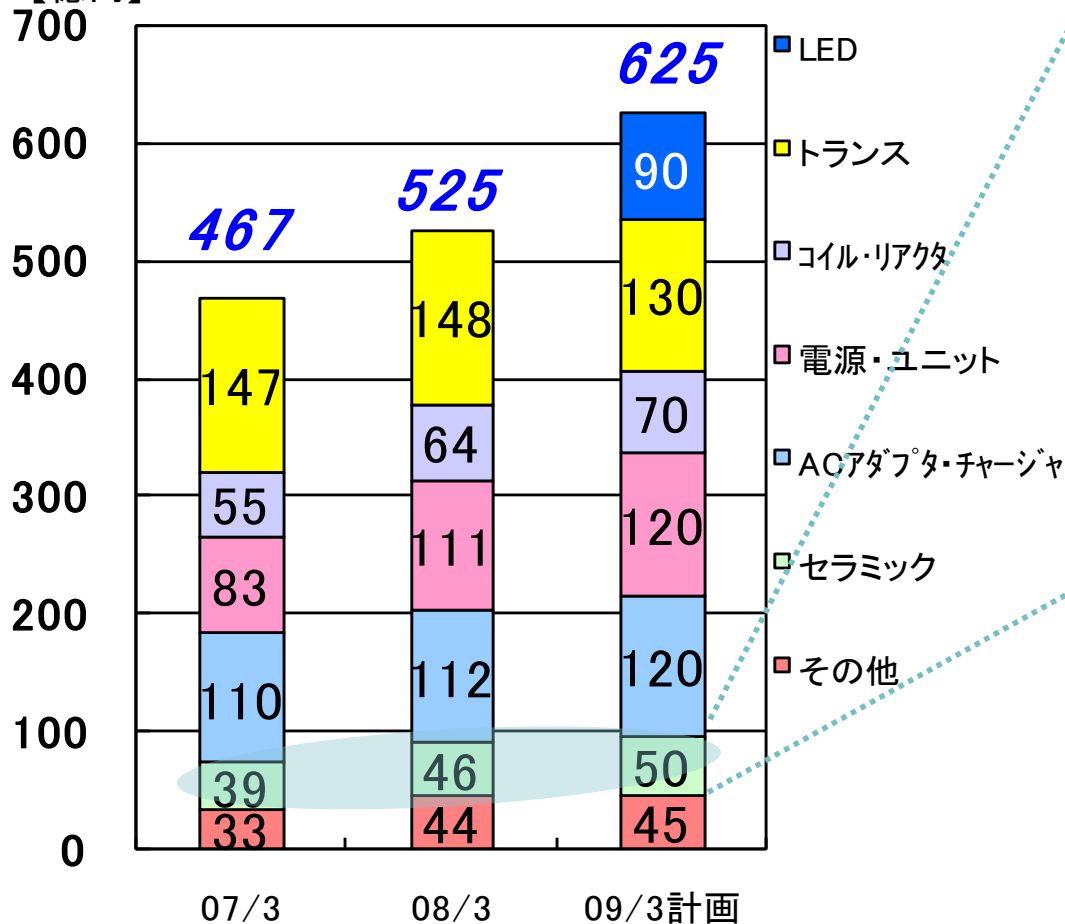
【億円】



- ERPの採用エリア拡大(欧米展開)により連結原価マネジメントを更に強化
- 戦略製品をはじめとした競争優位製品の強化・拡大による収益性の向上
- 商品の低価格化、原材料高騰など厳しい市場環境へのリスクマネジメント強化

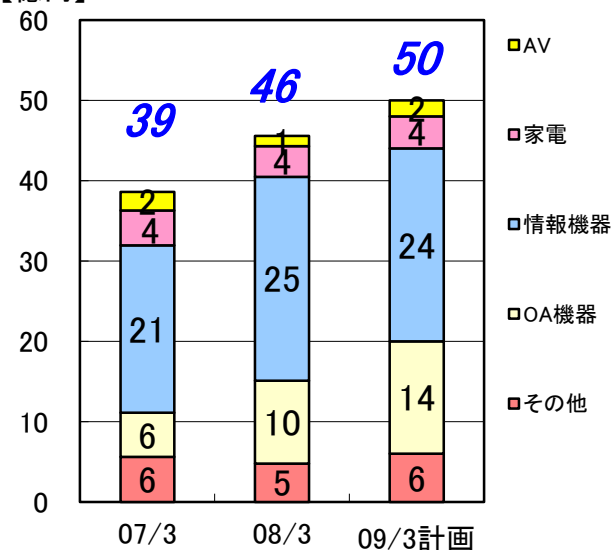
製品別 売上高

【億円】



【内訳:セラミック事業 市場別売上高推移】

【億円】

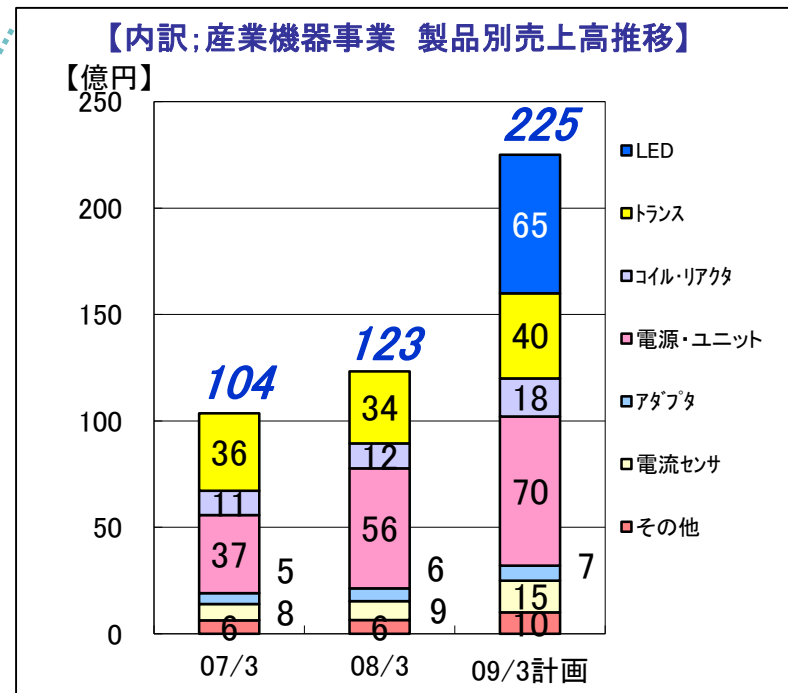
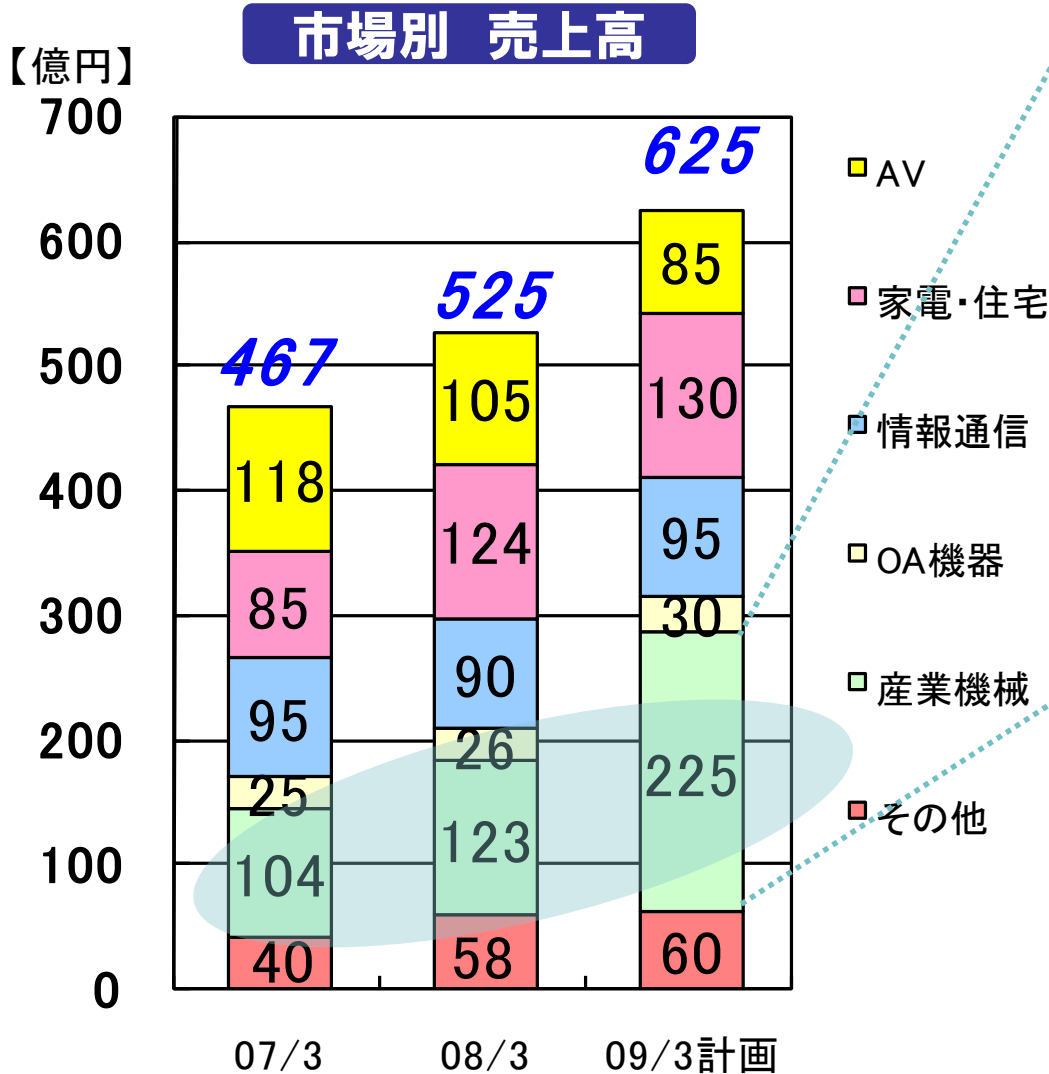


◆ 戦略事業であるセラミック事業において
液晶TV市場への本格参入を目指す

液晶TV向け圧電インバータ

薄型化ニーズに対応すべく、電源とインバータを一体化した新方式(ダイレクト駆動)を採用し、圧電の強みを生かした薄型化提案により、次期モデルへの本格採用を狙う

- ▶ 産業機械、エネルギー関連市場への更なる拡販、グローバル展開の推進
- ▶ マーケット・ミックスの改善による収益性の更なる向上



◆産機向け部品のグローバル拡販を推進強化

- ①トランス、コイル・リアクタ、電源
NC・工作機械分野、エネルギー分野を中心に更なるシェア拡大に向け顧客ニーズに対応した新製品・新技術をグローバル市場へ投入
- ②電流センサ
引き続き、日本・アジア・欧米のインバータ市場・モーター制御・UPS市場向けに営業体制の強化を図り、拡販を推進

2008年3月25日 株式会社タムラ製作所、株式会社光波との資本業務提携合意
 2008年3月26日 公開買付け開始
 2008年4月30日 公開買付け終了
 2008年5月12日 公開買付け決済開始
 株式会社光波、株式会社タムラ製作所の連結子会社化

➤公開買付け価格 1株につき 1,200円

➤買付けの結果

買付予定数	応募数
3,599,400株	3,740,201株

	買付け前		買付け後	
	公開買付者の所有株券等に係る議決権の数	10個	所有割合 0.01%	36,004個

*光波の総株主等の議決権の数(平成20年3月31日現在) 66,925個
 光波の自己投資 2,040個
 光波の総株主等の議決権の数 68,965個

➤買付け等に要する資金 4,319百万円

タムラグループ中期経営計画

T's POWER!の実現

未来の利益の源泉づくりにチャレンジ!

市場ニーズ? キーワードは?



チャレンジ項目: LED事業

▶時代のニーズにマッチしたLEDの特長

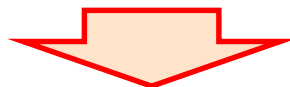
省エネルギー	電力消費量は電球の1/5~1/10以下
長寿命	白熱電球の数十倍、蛍光ランプの数倍の寿命
小型・軽量	小型化、薄型化が可能で、デザイン上の自由度が高い
環境保全	低消費電力で二酸化炭素の排出量や発熱が少ない。水銀を含まない
低電圧駆動	単一LED素子の駆動電圧は2~4V程度で電池駆動も可能
高速な応答性	ns(10億分の1秒)~ μ S(100万分の1秒)オーダーの応答速度
多彩な光色	紫外、紫、青、青緑、緑、黄緑、黄、橙、赤、赤外など各単色光が実用可能

タムラグループ中期経営計画

T's POWER!

チャレンジ項目=LED関連事業

省エネ・小型化など、市場から高まるLEDへの期待



タムラのコアテクノロジーと光波のコラボレーションだからできる夢の実現!



電源技術

熱伝導解析技術

- ・「トランスのタムラ」トップクラスの電源技術
- ・84年の歴史で築いたグローバル顧客
- ・安定経営基盤、充実した生産・R&D体制

素材技術

ファイン実装材料

実装技術

コーティング材料/技術

LED拡散配光技術

LIT
LITEHOUSE TECHNOLOGIES

- ・オンリーワンLED応用技術

LEDボタン

チップLEDランプ

LED照明

高輝度技術

- ・国内自販機ではシェア90%以上の確固たる地位
- ・S60年創業以来「光のエンジニアリング企業」として各種LED応用製品を開発

小型化

環境配慮

ポストCCFL

オリジナルユニット製品

省エネ

各種技術シナジーによる新たな高付加価値製品の創造

可視光通信

グローバル販売

生産・販売のグローバル展開

量産体制確立

SCM推進

品質保証強化

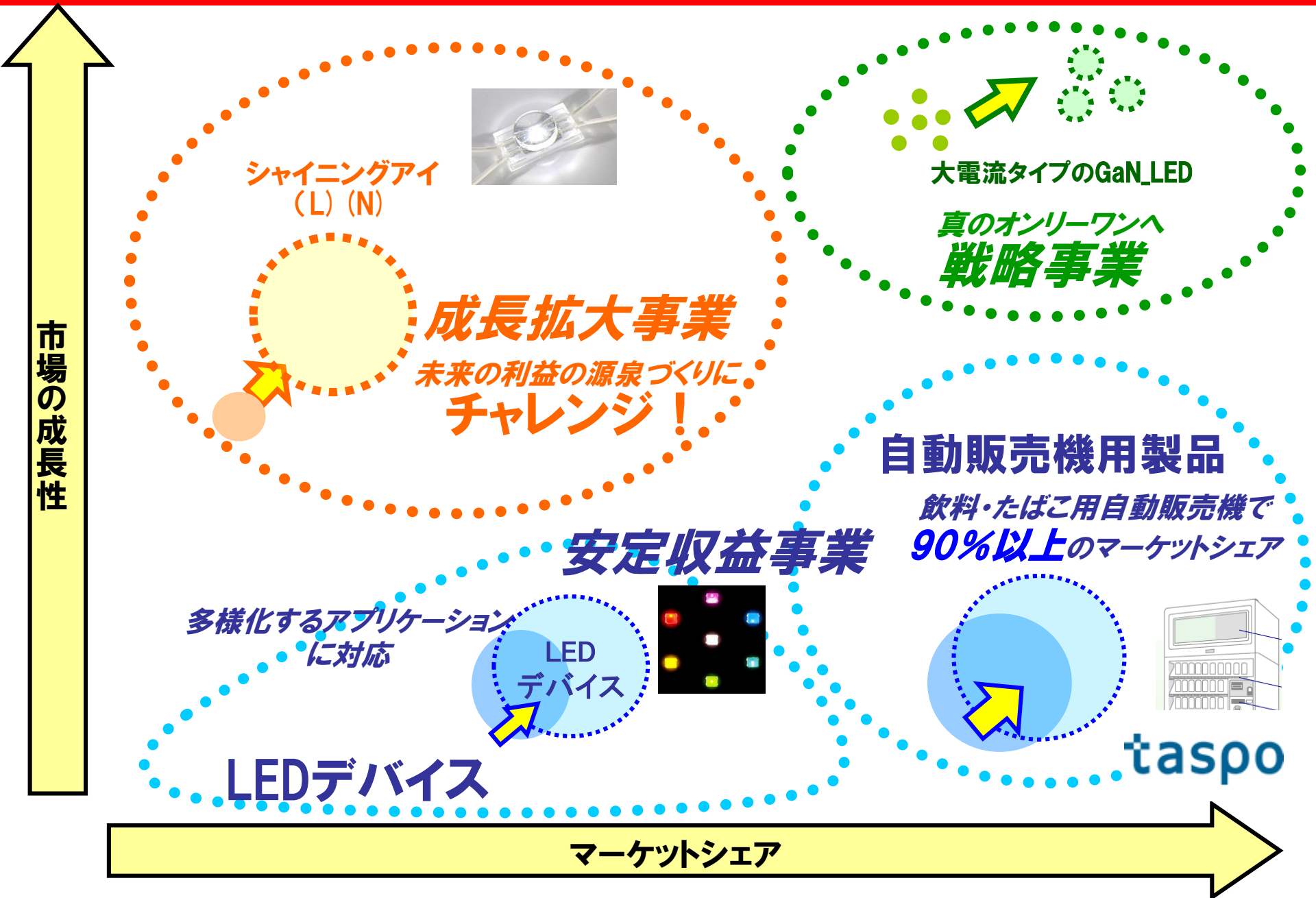
R&D強化

知財戦略

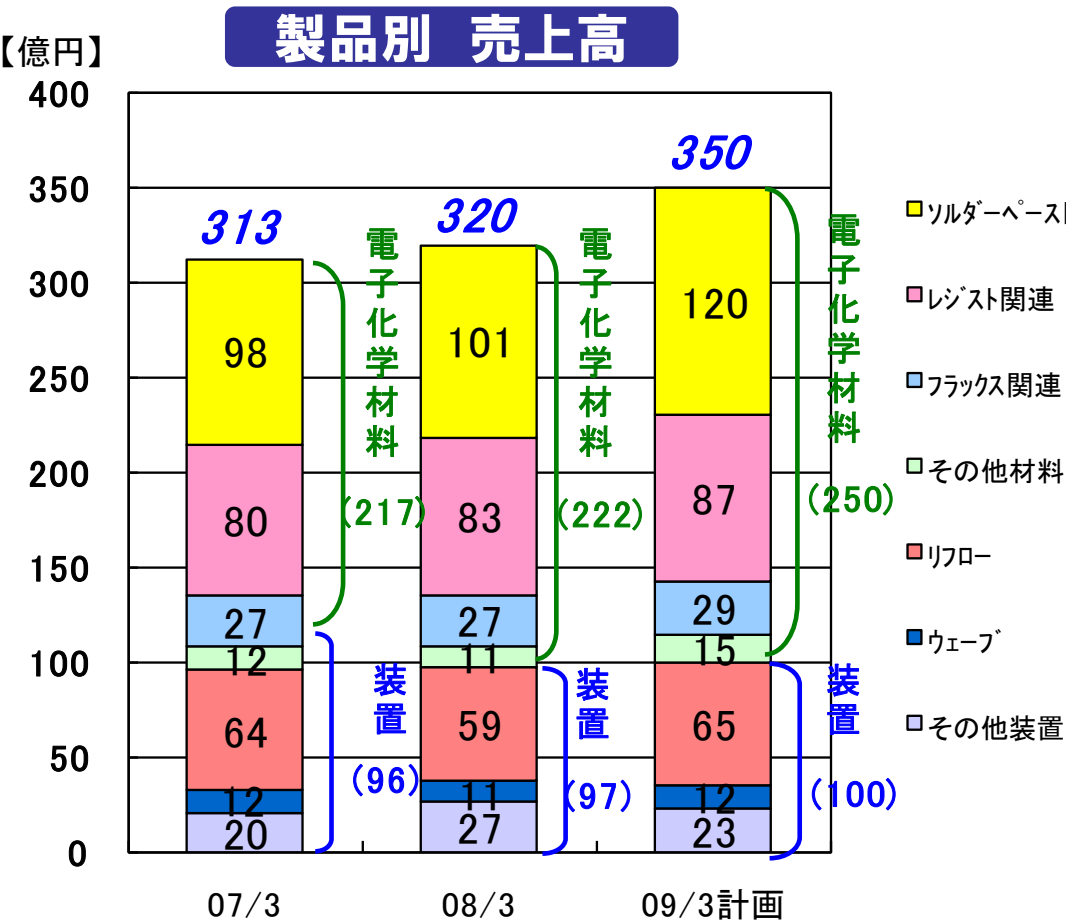
経営管理強化

ERP活用

購買力強化



- 車載市場、半導体市場などにおける「鉛フリー材料」での更なる必勝に向けた開発力強化と新製品投入によるシェア拡大
- 材料～実装技術のトータル・ソリューションを生かした営業力強化
- 電子化学材料事業へのERP導入による原価改善・収益性の向上

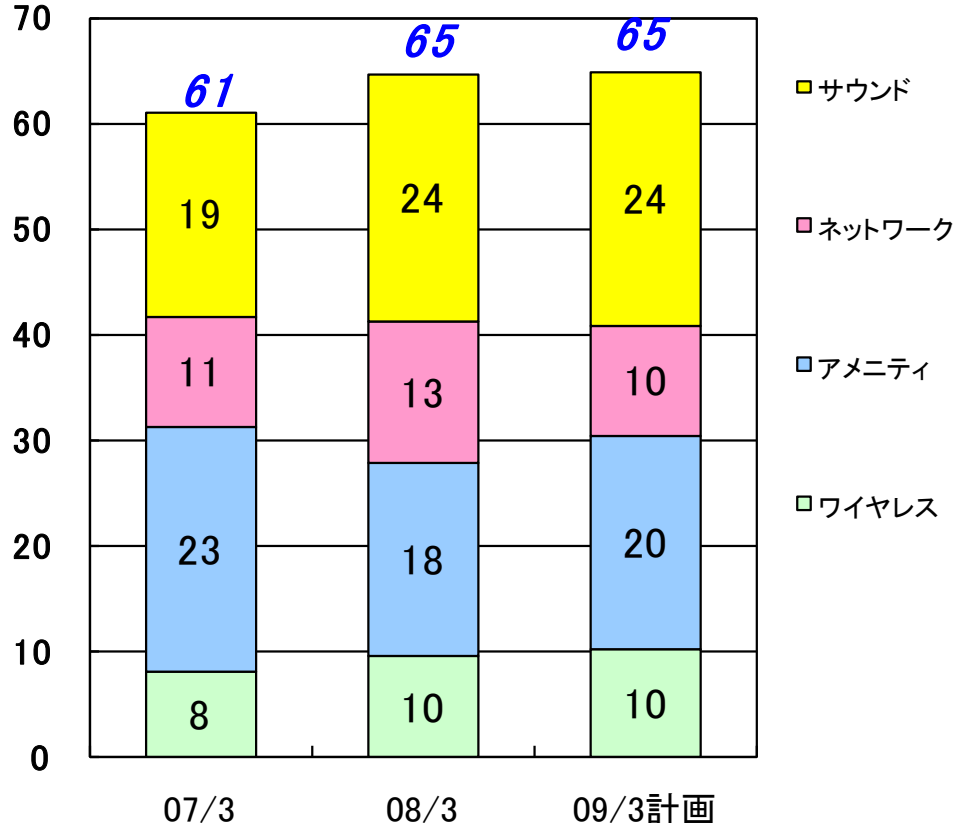


- ◆ **車載関連市場の環境対応に注力**
 - ① **はんだ付装置関連**
 - 新タイプN2リフロー装置を車載市場へ展開
 - ポイントディップタイプ・ウェーブ装置の更なる拡販
 - ② **電子化学材料**
 - 車載用レジスト、鉛フリーソルダーペーストを拡販
 - 車載電装市場の拡大に伴い、シェア拡大を狙う
- ◆ **ペースト市場の更なる伸長に向けて**
 - ① **半導体用ペースト**
 - 拡大する半導体市場へ向け既存市場の防衛、新規市場の獲得・拡大を目指す
 - ② **鉛フリーペースト**
 - 拡大する薄型テレビ市場のシェア拡大へ向け信頼性を更に向上した新製品を投入
 - 新規承認を狙う

- 放送機器関連・ワイヤレス関連製品の国内外への更なる拡販強化
- 更なる収益安定化へ向けた構造改革を推進

市場別 売上高

【億円】



◆ 更なるラインナップ拡充により、国内地方局、グローバル展開強化

- ・昨年リリースを開始した新製品 (AMQ1100)を中心に性能・コストを意識した新製品投入
- 更なるラインナップの拡充を図り、国内地方局、アジア市場への拡販を推進

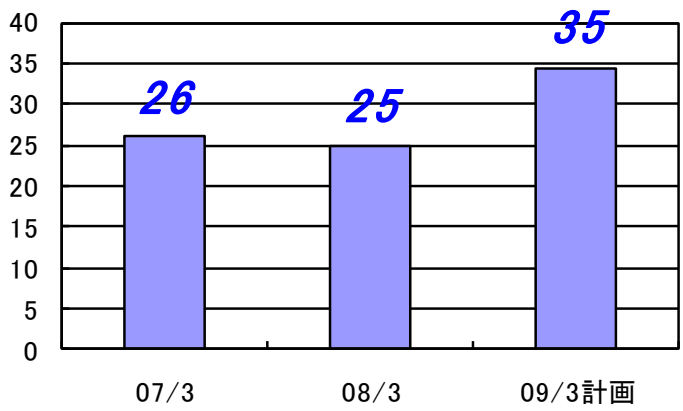


「デジタル音声調整卓:AMQ1100」

設備投資

ERPへの投資拡大及び
戦略事業へ積極投資

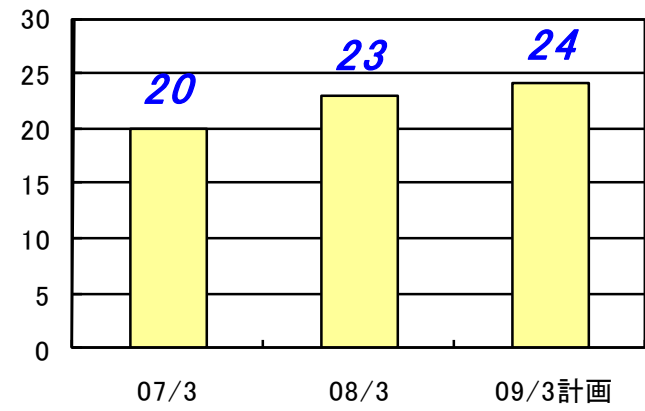
【億円】



減価償却費

投資拡大に伴い微増、
概ね予定通りに推移

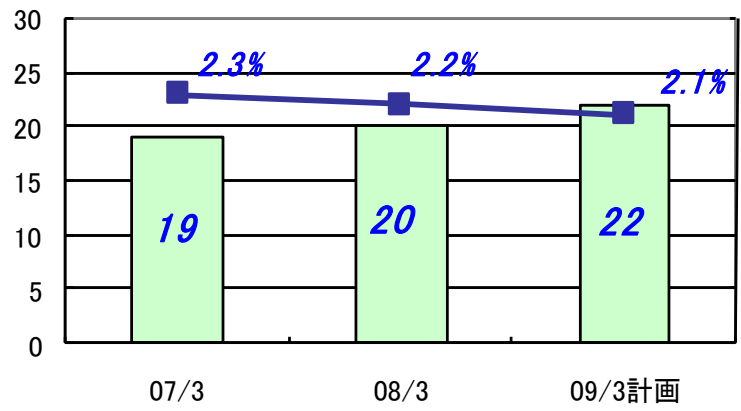
【億円】



研究開発関連費用

【億円】

■ 試験研究開発費 ■ 対売上高比率



- ・競争力強化へ向けたコア技術開発を推進
- ・ポータブルタイプデジタル音声機器の開発
- ・デジタルワイヤレス関連機器の開発
- ・磁性材料関連の研究開発
- ・セラミック関連の新素材の研究開発
- ・自動車市場向け各種電子部品、電子化学材料の研究・製品開発
- ・半導体市場向けファインピッチ実装方式、ファインピッチ実装材料の研究開発

* 注意; 上記項目にLED関連は加味されておりません。

弊社からのお願い

業績等の計画につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は、市場の変化などにより計画と異なる結果になる可能性もあることをご承知おきください